

Teletronix® LA-3A Audio Leveler

伝説的なソリッドステート・オプトコンプレッサー

Teletronix LA-2Aの穏やかなオプティカルコンプレッションを、UA 1176のソリッドステートの鮮明でパンチのあるサウンドと融合させれば、Teletronix LA-3Aのサウンドであるスピーカーの前面に音を移動させることができるユニークなキャラクターを持つ“秘密兵器”コンプレッサーが誕生します。

改良されたユーザーインターフェイスのグラフィックと音質の向上が特徴のTeletronix LA-3A Audio Levelerは、UADハードウェアとApolloインターフェイス用に刷新され、従来のコンプレッションハードウェアの柱と並び重要な位置を占めています。

新機能:

- 信頼性の高いソリッドステート・オプティカルコンプレッサーで簡単にシェイプ
- ベースギターやソフトシンセに粒立ちや質感を加える
- ボーカルとアコースティックギターにエネルギーとハーモニクスを追加する
- 新しいHFエンファシス・サイドチェインフィルターやパラレル・ドライ/ウェットミックスでサウンドをさらにシェイプ可能
- ミックス内のスネアを持ち上げる
- 改善されたVUメーターにより、より正確なコンプレッションセッティングが可能

LA-3A ヒストリー

1969年のNYのAESショーでデビューしたTeletronix LA-3A Audio Levelerは、Teletronix LA-2Aのチューブデザインからの脱却を果たしました。LA-3Aは、UAのソリッドステート駆動による1176LN Limiting Amplifierのコンポーネントとデザインコンセプトを取り入れながら、LA-2Aのオプティカルコンプレッション・デザインを採用し、LA-3A独自のサウンドと拡張された汎用性を実現しました。

実績のある勝者

LA-3Aはすぐにスタジオの主力製品として採用され、現在でも広く使用されています。LA-3Aは、その独特のコンプレッションキャラクターと音響特性により、世界中のエンジニアやプロデューサーに好まれています。UAのビンテージコレクションのユニットからモデリングされたTeletronix LA-3A Audio Leveler プラグインは、レアなハードウェアを忠実にキャプチャーし、ボーカル、ギター、ドラムに魔法のような働きをします。

新しく加えられたモダンな機能

ハードウェアオリジナルのHFエンファシス・サイドチェインフィルターを追加することで、キックのコンプレッサーのスレッシュホールドをトリガーすることなく、Teletronix LA-3Aプラグインで簡単にドラムバスをパンチを加えることができるようになりました。さらに、新しいドライ/ウェット・ミックスコントロールを使用してインストゥルメントバスにパラレルコンプレッションを簡単に適用することができ、伝説的なTeletronix LA-3Aのサウンドで作品にカラー加えることができます。

アーティストプリセットへのアクセス

Teletronix LA-3Aには、著名なUniversalAudioアーティストがボイスしたプリセットが含まれています。一部のアーティストプリセットはDAWの内部ファクトリーバンク内にあり、プラグインホストアプリケーションのプリセットメニューからアクセスできます。その他の追加アーティストプリセットは、UADインストーラーによってディスクにコピーされます。

追加のアーティストプリセットには、ホストアプリケーションのプリセットメニュー、UADツールバーの“Settings”メニュー、またはUAオーディオインターフェイスを備えたコンソールのプリセットマネージャーからアクセスできます。

Carl Glanville	Jeff Balding
Chris Coady	Joe Chiccarelli
Chris Zane	Mark Needham
Chuck Zwicky	Mike Poole
Damian Taylor	Nick McMullen
Dave Isaac	Richard Chycki
Eric J Dubowsky	Ross Hogarth
J.J. Blair	Steve Levine

Teletronix LA-3Aプラグインにプリセットを提供しているアーティスト



Teletronix LA-3A Audio Levelerのインターフェイス

Teletronix LA-3A Audio Levelerのコントロール

ゲイン

出力レベルを上げてコンプレッションによるレベルの低下を補正するために使用します。ピークリダクション・コントロールで必要な量のコンプレッションに調整したらレベルコントロールを調整します。ゲインコントロールはコンプレッション量には影響しません。

注: フロントパネルのノブの値は、0~10の間でお好みの位置に設定できます。その表示は特定のdB値を反映していません。

ピークリダクション

このノブによってスレッシュホールドを調整し、コンプレッション量を設定します。値を大きくするとスレッシュホールドが低くなりコンプレッション量が増えます。

注: フロントパネルのノブの値は、0~10の間でお好みの位置に設定できます。その表示は特定のdB値を反映していません。

必要な量のコンプレッションが得られるまで、このコントロールを時計回りに回してください。ピークリダクションの量を視覚的に確認するには、VUメーターノブをゲインリダクション (GR) に設定してください。ピークリダクションは、ゲインコントロールとは独立して調整する必要があります。

ピークリダクションが最小値に設定されている場合、コンプレッション (またはリミッティング) は発生しませんが、信号は回路によってカラーリングされたままであり、出力レベルはゲインコントロールで調整できます。

Comp/Lim

ヒント: スイッチのラベルをクリックすると、モードをすばやく切り替えることができます。

このスイッチは、コンプレッションレシオを設定します。コンプレッサー (COMP) に設定すると、レシオは約3:1になり、リミッター (LIM) に設定すると、レシオは約無限大 (∞):1になります。しかし、コンプレッションレシオはノンリニアで周波数に依存するため、これらの数値は絶対的なものではありません。

VUメーター

VUメーターはゲインリダクションの量、または出力レベルを表示します。表示するモードは、メーターセレクト・スイッチで選択することができます。メーターが暗く表示されている場合、プラグインはメーターセレクト・スイッチ、またはホストのバイパススイッチでバイパスされています。

注: “OUTPUT” に設定すると、メーターはウェットの信号レベルのみを表示します。

メーターセレクト

VUメーターのモードを設定し、プラグインを無効にします。メーターセレクトがGRに設定されている場合、VUメーターはゲインリダクション量をdB単位で表示します。アウトプットに設定すると、ゲインコントロール後の相対レベルを反映します。

ヒント: スイッチラベルをクリックすると、モードを切り替えることができます。

オフになっている場合、プラグイン処理は無効になり、VUメーターは暗くなり、UAD DSPの使用量が減少します。

注: UAD-2 DSPの使用量は、UADメーター&コントロールパネルで“DSPLoadLock”がオフになっている場合にのみ軽減されます。“DSP LoadLock”が有効(デフォルト値)の場合、スイッチをオフに設定してもDSPの使用量は減りません。

ハイフリーケンシー・エンファシス(HF)

ハイフリーケンシー・エンファシスの“ネジ”は、コンプレッサーのサイドチェーン入力のシェルフフィルターをコントロールして周波数に依存したコンプレッションを行えるようにします。



ヒント: ラベル“+”または“-”をクリックして、値を10分の1単位で増減させます。ラベル“HF”をクリックするとデフォルト値に戻ります。

コントロールが完全に時計回り(デフォルトの位置)の場合、サイドチェーン信号はフィルタリングされず、スレッシュホールドを超えるソース信号のすべての周波数のゲインリダクションを均等にトリガーします。

HFコントロールを反時計回りに回すと、サイドチェーン信号のフィルタリング効果が増加します。ハイフリーケンシー・エンファシスフィルターは、サイドチェーン信号の低周波数成分を徐々に減らし、これらの周波数に対する感度が低く、高周波数成分に対する感度が高くなります。したがって、サイドチェーンのフィルタリングが増えていくと、より高い周波数がよりコンプレッションされることとなります。

ミックス

ヒント: ラベル“+”または“-”をクリックして、値を10分の1単位で増減させます。ラベル“MIX”をクリックすると値を50%に設定します。



プラグインによって処理された信号と元のドライ信号をブレンドして出力するバランスは、ミックスコントロールで調整することができます。

ミックスコントロールは、DAWで新しくルーティングを追加することなく、パラレルコンプレッションを行うことができます。

注: ミックスコントロールは、オリジナルハードウェアには存在しません。

ミックスを0% (完全に反時計回り) に設定すると、ドライソース信号のみが出力されます。100% (完全に時計回り、デフォルト値) に設定すると、ウェット信号のみが出力されます。50% (12時の位置) に設定すると、ドライ信号とウェット信号の両方が均等にブレンドされて出力されます。バランスは、コントロールの範囲内全体で連続可変することができます。



オリジナルのTeletronix LA-3Aハードウェア